

## 幼保一体化施設Q & A 【平成26年（2014年）4月現在】

NO.	質 問	回 答
1	幼保一体化施設とはどういうものですか。	現在の幼稚園と同様に1日4時間程度の幼児教育を希望する教育標準時間利用児（以下、幼稚園枠）と、保育園と同様に8～12時間の保育を必要とする保育短時間利用児・保育標準時間利用児（以下、保育園枠）を対象とします。幼稚園枠と保育園枠との共通する時間では、混合で幼児期における学校教育を提供する施設のことです。また、在宅での子育て世帯への子育て支援も行っています。
2	幼保一体化することでどんなメリットがありますか。	<p>（1） 親の就労の有無にかかわらず、同じ施設で教育、保育を受けることができます。</p> <p>（2） 少子化が進行すると見込まれる中、子どもの健やかな成長にとって大切な集団活動や異年齢交流の機会が確保されます。</p> <p>（3） 在宅で子育てをしている保護者の方は、育児相談や一時保育などの支援が受けられます。</p> <p>（4） 看護師による健康管理を受けることができます。</p> <p>（5） 施設更新により保育環境の整備が図られます。等さまざまなことが考えられます。</p>
3	平成27年度以降も幼稚園児の入園募集は継続しますか。	幼保一体化施設には、幼稚園枠も設けますので、募集は継続して行う予定です。
4	幼保一体化施設の竣工予定はいつ頃ですか。	平成27年度（2015年度）に着工し、平成29年度（2017年度）中の竣工を予定しています。
5	幼保一体化施設の内容はいつ頃詳細がわかるようになりますか。	国の子ども・子育て会議の動き等を見ながら施設検討を進めてまいります。幼保一体化施設の設計は平成26年度中を予定していますので、保護者の方々の意見も踏まえながら進めていきます。
6	幼保一体化施設は待機児童対策という位置付けですか。	待機児童対策としての位置づけではありませんが、保護者の長時間ニーズには柔軟に対応していけると考えています。待機児童対策は喫緊の課題であり、認可外保育施設の活用等により、速やかに解消したいと考えています。
7	施設の定員や入所選考についてはどうなりますか。	<p>受け入れ対象は、幼稚園枠は、現時点では現在の公立幼稚園と同じ、4、5歳児を考えています。また、保育園枠は0歳から5歳までです。今後、子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査や国の制度設計も参考に検討し、幼保一体化施設としての適正な定員を設定します。</p> <p>選考方法については、幼稚園枠・保育園枠ともに現在と同様です。他の施設と同様に、選考の結果入所できなかった場合は他の施設をお選びいただくこととなります。</p>

## 幼保一体化施設Q & A 【平成26年（2014年）4月現在】

8	幼保一体化により現在の保育園からの転園を希望する場合、優先事項になりますか。	優先事項にはなりません。
9	在園児童も新施設入園選考の対象となりますか。	在園児童は新しい幼保一体化施設への入園を保障いたします。
10	保護者会・PTAの活動はどう変わりますか。	幼稚園にはPTA、保育園には保護者会などがあります。幼稚園と保育園は活動の時間帯が異なるので、それぞれのあり方を検証し、一つの団体として活動していただきたいと考えています。
11	幼保一体化施設となって民営化することはありますか。	民営化の予定はありません。
12	保育園枠で入園してる子どもは4歳で再度選考を受けることになるのですか。選考にもれて退園になることもありますか。	入園児童が再度選考されることはありません。保育園枠のまま、卒園することになります。
13	幼保一体化施設の設計に保護者の意見は取り入れてもらえますか。	アンケート調査等で事前に保護者の方々からご意見をいただき、それを踏まえて設計していきたいと考えています。
14	複数階の場合、階段は安全面において不安があります。また、エレベータを設置すると危険ではないですか。	土地の有効的な利用を考え、2階建てでの設計を検討しています。一般的にも幼稚園・保育園は2階建てが多い状況であり、本市の公立保育園で2階建ての施設が平屋建ての施設と比べて子どもの事故が多いということはありません。ただし、保護者の方々の不安に配慮し、安全面を十分考慮し、利用しやすい施設といたします。
15	建て替え中、幼稚園の仮園舎はどこになりますか。	仮園舎は古江台小学校内の施設を利用できるように、教育委員会と調整中です。
16	病児・病後児施設を設置できませんか。	ニュータウン地域ではすでに病児・病後児保育室が藤白台地区に開設していますので、新たに設置する予定はありません。
17	保護者用の駐車・駐輪スペースの計画はありますか。	現在の公立幼稚園・保育園は、徒歩、自転車での送迎をお願いしていますので、駐輪場の設置はいたします。しかし、車での送迎は原則禁止していますので、送迎用の駐車場を設けることはいたしません。なお、業務用の駐車場は数台分確保する予定です。

## 幼保一体化施設Q & A 【平成26年（2014年）4月現在】

18	プールは大・小2個、それぞれ日よけを設置してほしい。	使いやすい設備を目指し、検討してまいります。
19	保健室・給食室を設置してほしい。	確保するよう検討しています。
20	警備員・オートロック等、セキュリティ対策はどうなりますか。	子どもたちが安全に生活できるよう検討してまいります。
21	北千里保育園の敷地内での建て替えはできませんか。	古江台幼稚園用地が良好な環境であること、工事期間中の保育園の仮設園舎の確保が困難であることなどを考慮し、建設の方針を決定いたしました。
22	小学校への円滑な接続といいますが、古江台小学校の校区じゃない子どもにとっては意味がないと思います。	入学予定校であるなしにかかわらず、小学校と積極的に交流していくことで、子どもが小学校での生活や教育にスムーズに入っていけるようになると考えています。
23	幼稚園の建替えになると、現保育園から遠くなり、通いづらくなってしまいます。	近くなる方、遠くなる方の両方があり、一部の方にはご不便をおかけする場合がありますが、ご理解をお願いいたします。
24	一日のリズムについて、幼稚園枠・保育園枠とも同じように過ごすことになりますか。	子どもの一日の過ごし方については、幼稚園、保育園それぞれの園での生活について検証し、一緒に過ごす子どもたちにとってよりよいものとなるよう検討を進めています。
25	縦割り保育・英語教育・運動会・お昼寝時間などのカリキュラムや制服などはどうなりますか。	保育内容や運営面につきましては、子どもたちの生活を考慮するとともに、保護者と職員の意見をふまえ、検討を進めてまいります。
26	母園がなくなってしまう卒園児のことも考えてほしい。	卒園児とのかかわりについては、これまで同様と考えております。
27	保育料は今よりも高く（安く）なりますか。	幼保一体化施設に関わらず、平成27年度（2015年度）から本格施行予定の子ども・子育て支援新制度での保育料は、保護者の負担能力に応じた額とすることとされており、具体的には国の子ども・子育て会議で検討されています。 本市におきましても、この負担額を参考に、保育園・幼稚園・幼保一体化施設等の適切な利用者負担について検討してまいります。

## 幼保一体化施設Q & A 【平成26年（2014年）4月現在】

28	給食やお弁当はどうなるのでしょうか。	給食は現在の保育園と同じ、自園調理で行う予定です。幼稚園枠でも給食の提供を予定しています。 また、給食費等の料金につきましては、子ども・子育て支援新制度で決めていくこととなります。
29	子ども・子育て支援新制度の基準等について、現在と大きく変わることもありますか。 また、いつから変更になりますか。	子ども・子育て支援新制度については、国で検討が進められております。制度変更により取り扱いが変わる場合は、できるだけ早くお知らせします。
30	幼稚園は2年保育なので料金改定などは2年周期にしてほしい。	子ども・子育て支援新制度では、国の定める額をもとに決定する仕組みとなる予定であり、変動する場合があります。
31	保育士・幼稚園教諭がそのまま一体化施設に配置された場合、資格・免許の点で問題はありますか。	幼保一体化施設に勤務する保育に携わる職員は、保育士と幼稚園教諭の両方の資格・免許を有していることを基本とします。 また、現在の幼稚園・保育園の職員については大きく変わることは想定していません。
32	子どもの数が増えることが不安。保育士・幼稚園教諭の目が行き届くような配置をしてほしい。	職員の配置計画については検討中ですが、子ども・子育て支援新制度に合わせた適正な配置を行ってまいります。